

所長の模型部屋（第11回）

前回から模型の撮影場所が私の自宅、すなわち本当の「私の模型部屋」での撮影となりました。

今まで職場の執務デスクの上で撮影していたのですが、模型を運ぶのにも苦勞することから、作った現場での撮影としました。背景の塗料や接着剤、そして、中学生の頃に地元の百貨店で行われた、チョロQ改造コンテスト優勝賞品の「ゲームアンドウォッチ」があります。生々しい背景ですが、そんなところもお楽しみ下さい（笑）

さて、今回は私に縁があった旧73式小型トラック・通称



私が71戦車連隊5中隊勤務の頃は、各中隊に中隊長車のジープの他、もう1台連絡用として配備されていました。中隊長車は01-××××の車番の新型ジープでターボが付いており加速や馬力が向上されたものでしたが、もう1台は、03-××××の車番の旧型ジープで、だままだまし使うような老朽化した車両でした。

中隊では「マルサンジープ」と愛称を付けて使用していました。ハンドルの遊びが多すぎて、右に切っているのに左に曲がる等、恐ろしいジープでした。演習場でハンドルを取られ、雨裂に片輪がはまり、横転しそうになったとき、倒れる車体を押さえようと操縦席横から足を出した思い出があります。自転車じゃないんだから足で押さえられないのに。あわてると人間は何をするか分からないですよ。今回はその時に乗っていたジープを模型化しました。あの時の恐ろしい思い出がよみがえります（笑）



車体はグンゼのオリーブドラブ(1)、キャンバスはアクリルタミヤのRLMグレイで塗りました。キャンバスはよく「カーキ」で塗装指示がされていますが、キャンバスの新品は、この色がイメージに近いです。この色から退色したり埃が被ったりして段々カーキに近い色になるのですが、どうも「カーキ」と言う色は自衛隊のキャンバス色と違うと思います。この他にも74戦車の砲身基部のキャンバスや自衛隊大型トラックのキャンバス等にも言えます。キャンバス製のドアをキット化しなかったのは残念ですね。

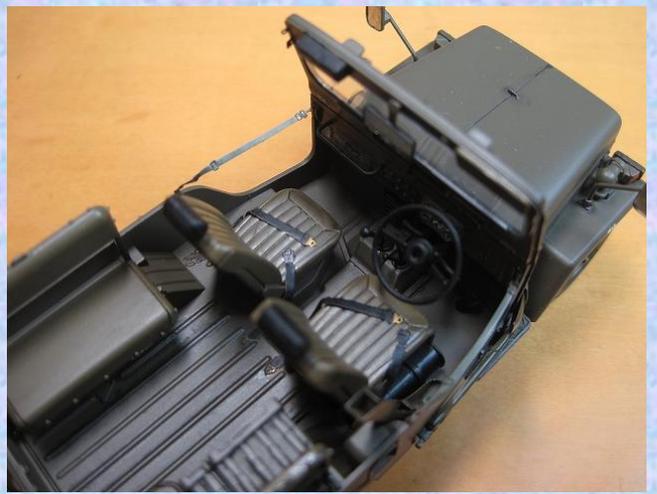
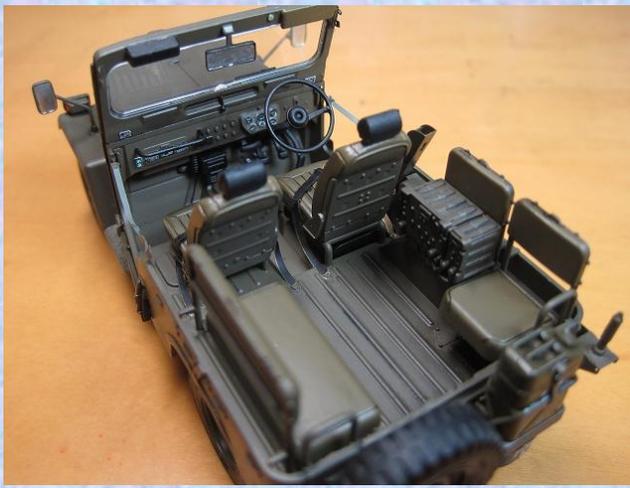


トラックのキャンバスは取り外すと再度取り付けることが困難なため、あまりこうしてオープンにすることは無いのですが、キットの場合は簡単に脱着可能なので、外してみました。内部のディテールも見えますし、せっかくエッチングパーツも使用したのでですから見て下さい。

旧FM無線機も懐かしく、あの頃を思い出してしまいましたよ。

無線機を搭載しても背もたれは外さない場合が多かったです。

シートは前回のパジェロ同様にグンゼのオリーブドラブFS34087を使用しました。



エッチングパーツも使用は最小限にしました。さすがに一番細かいベルト通しなどは取り付けるのに苦労しそうです。また、三つ折りにして取り付ける方向指示器ガードは上手く重ならないため、キットをそのまま使用しています。何でもエッチングにすればいいものではありませんよね。



このキットと同時期に発売された重機関銃搭載型です。このタイプは私が入隊した頃には退役しており、さすがに乗ったことはなく、キットの説明書とおり10偵仕様としました。車体色はタミヤアクリル自衛隊OD色です。新車の頃はグンゼのオリブドラブ(1)に近いのですが、整備工場で全塗装をかけると、タミヤOD色になり、更に退色していくと光沢が消え、グレーに変化していきます。



シートの色はタミヤアクリルのフィールドグレイにオリーブドラブを混ぜて、グリーンに近い色としています。古い車両の中には、シートの色が緑かったものもありました。

重機関銃はフラットブラックに鉛筆の芯の粉をこすりつけています。ファインモールドさんの次回作に期待したいです。

さて、次回は昨年発売になった

87式自走高射機関砲です。



またお付き合い下さい。